

1. 理科部の運営方針

- 品川区小中一貫教育カリキュラムに基づいた指導計画に沿った授業づくりを行う。
- 品川区内の小学校（前期課程）と中学校（後期課程）の連携を十分に図り合同で円滑に研究を進める。特に小中間では、部員同士が忌憚のない意見交換のできる雰囲気づくりに努める。
- 理科における基礎基本の定着と求められる資質能力の育成を目指す。
- 授業研究に加え、品川区理科成果発表会の運営や教員対象の研修会の企画など、様々な活動や交流、情報交換などを積極的に行い、教員としての総合的な理科授業に関する資質能力を高める。

2. 研究活動について（基本方針）

- 部員は分科会に分かれ、分科会ごとに研究テーマに沿って年間5回の授業提案を行う。なお分科会は、小中学校の合同とする。概ね地域に近い教員同士で構成する。
- 授業研究を進める際は効率化を図るため、できるだけ早めに提案する内容の検討を開始し、定例会終了後に検討が進められるよう準備する。
- 授業研究での提案の際には、分科会からの協議のポイントとなる視点を明確に示し、効率的でより焦点化した協議の運営に努める。
- 新学習指導要領の理科の改定の趣旨や目標・内容、授業づくりの参考になる内容とする。

3. 研究の重点について

- 新学習指導要領の令和2年度完全実施に伴い、新学習指導要領の趣旨と内容を十分理解し、求められる授業を構築していく意欲と授業力を身に付けていかなければならない。
そのために、以下のことを重点とする。
 - ①新学習指導要領の理科が目指しているものが何であるかをしっかり読み取り、その理解を自分自身のものとして説明できるようにする。
 - ②新学習指導要領の目標と内容に基づいた理科授業の具体的なイメージをもち、授業改善を図る授業づくりを行う。また、視点を明確にした研究協議を行う。
 - ③理科部員だけにとどまらず、広く校内の教員に対して啓発できるようにするため、できるだけ汎用性の高い実践可能な内容を取り扱う。

4. 研究テーマ

新学習指導要領の全面実施で理科の授業はどう変わるか
～主体的・対話的で深い学びのある授業づくり～

5. 活動計画（令和2年度）

- 1学期 各校での実践（部としての活動は見送る）
- 2学期 各校での実践、情報交換など
- 3学期 オンライン等での講演会、研究発表会